

若宮大路はどんなところか まちの人の声 をきいてください



存在感のある歴史的な建物が残っている



開放感がある。海や山を感じられるのが魅力



安心して買い物ができる。穏やかさが残っている



新しい建物と古い建物のバランスが良く、それが入り混じった魅力がある



新しいものを取り入れて発展している

八幡様の門前町にふさわしい



景観への取り組み

鎌倉市はこれまで若宮大路の景観をより良くするためにさまざまな取り組みを行ってきました。

昭和 40 年代 古都景域内の高さ 15m 以下、屋上広告物の非設置の行政指導がはじまる

昭和 62 年 電柱の地中化、現在の歩道・植栽・照明の整備が行われる

平成 10 年代 屋外広告物（看板）・自動販売機の色誘導はじまる

平成 20 年 景観地区の指定、景観地区内の高さ 15m・色彩の法的規制はじまる

令和 2 年 あなたがつくる「若宮大路の景観」策定

建築主・事業主・設計者など みなさんへ

1. 若宮大路の歴史と周囲の自然をふまえて、まちの新しい顔となる上質なデザインを意識してください。
2. 訪れる人が心地よく歩けるように工夫してください。
3. 若宮大路の背後にある住環境を守るよう配慮してください。

◆策定支援

鎌倉市景観整備機構（一社）ひと・まち・鎌倉ネットワーク

◆問い合わせ

〒248-8686 鎌倉市御成町 18 番 10 号 鎌倉市役所 都市景観課

電話：0467-61-3477 ファックス：0467-23-8700

メール：keikan@city.kamakura.kanagawa.jp



令和 2 年（2020 年）4 月発行



あなたがつくる

「若宮大路の景観」

「みんなが誇れる美しい風景を
あすにつなぐ」

若宮大路は中世から続く鎌倉の歴史的都市軸として、市民や来訪者に親しまれています。若宮大路の景観は、そこに暮らす人々や商いをする人々の気概や流儀に支えられてきました。そして、歴史と自然環境をふまえた「上質さ」や「風格」が求められています。

ここに、まち並みの作法を示し、みんなで知恵を出し合いながら、より良い景観を創造していきたいと考えています。



■若宮大路とは

若宮大路は海（一の鳥居）から鶴岡八幡宮（三の鳥居）まで伸びる全長約 1.8km の一本道。
鶴岡八幡宮の参道として鎌倉時代からの長い歴史を持っています。

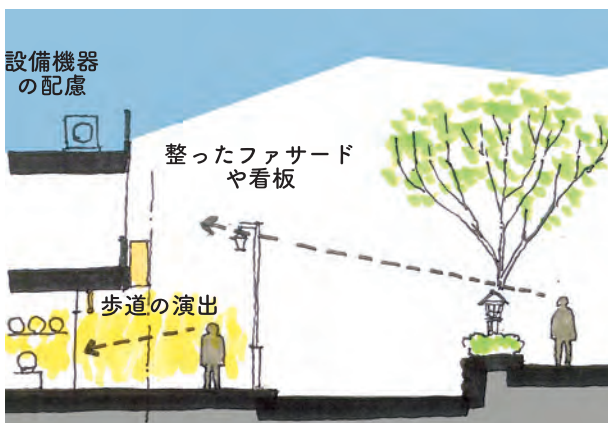
■まち並みの作法を知る

若宮大路にふさわしい建物とはどんなものか
考えてみましょう。



◆800 年以上の歴史がある都市軸

変わることなく鎌倉時代から残るまちの大切な骨格。
この通りに建築できることに誇りと敬意を持ってください。



◆歩きやすく心地よい歩行空間

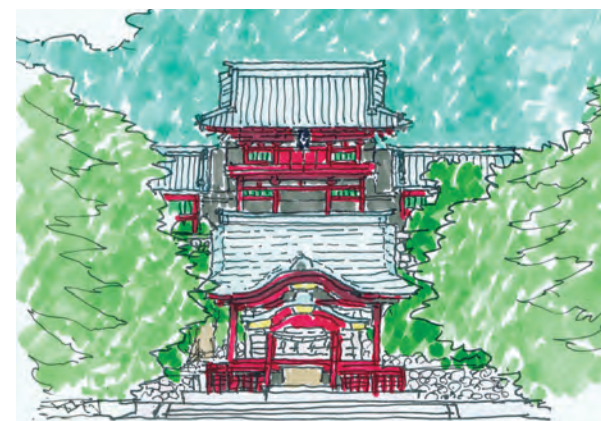
大勢の人が通る道です。道に接する部分のしつらえを心地よく
することを心がけてください。

二の鳥居から三の鳥居までの道の中央にある「段葛」は若宮大路の特徴であり最大の魅力で、
盛土により一段高く造られ、実際より長く見せるため三の鳥居に向かって幅を狭くしています。
この通りを歩くと心地よい雰囲気とともに「鎌倉らしさ」を感じます。



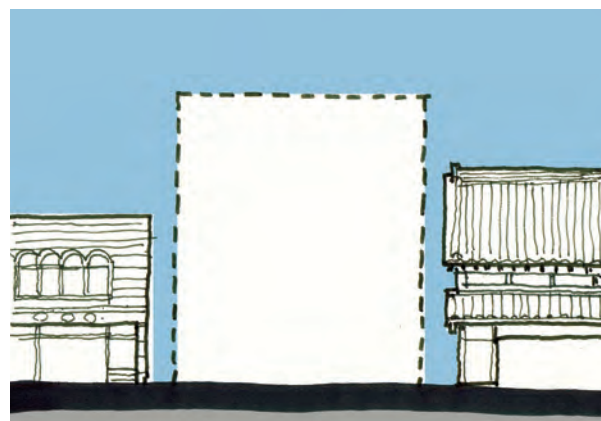
■まちの特色をつかむ

若宮大路を歩いてまちの特色をつかみ、計画の手がかりとしてください。



◆鎌倉のシンボルである鶴岡八幡宮

正面に鶴岡八幡宮と背景の緑があることで、この通りの風格と
誇りが守られています。この眺望を意識してください。



◆趣きと伝統ある商店建築が残る

古くから残る趣きある商店建築との調和を意識してください。



◆段葛の桜並木越しに山並みと空が見える

山並みと空が見えて開放的であることがこの通りの魅力の一つ。
建物の形や屋上設置物や看板は視線を遮らず、借景を活かした
デザインを心がけてください。